

平同 $\frac{3}{4}$ $\frac{1}{2}$ 同

三本入 同

五貫四百匁

第五、板類は左記の割合に依り御製品願はしく候、

一步厚一平方尺に付量、五ポンンドの割合、但し百分の二以内増減は苦しからす。

第六、板類にて板面にロールスケールの如き疵あるものは普通品としての價格にては賣買し難し。
第七、都ての鐵鋼材にして雨露又は潮水の爲め錆を生したるものも亦普通品としての價格を有せず。

第七節 商品の検定

鐵鋼は其性質上外見を以て品質を知る事困難なれとも、通常市場に於ける取引に於ては一々精密なる検定を行ふ事無く、多年の経験を有する當業者は商品の色澤、質の疎密を見て其品質を知り其の鑑定にて取引を行ふを通例とす。少しく精密なる方法としては商品の断片を熱し、又は槌を以て打ち、又は鉄にて切る等の方法を用ふる事あれとも稀に行ふのみ、且近來は製造者の附する商標に重きを置き、所謂銘柄賣買の行はるゝ事多きを加へたり。

然れども、建築材料、造船材料、機械製作の材料等の購入に際し大なる需要家は機械的及化學的の試験を行ふを常とす。即購入すべき品の抗張力、伸張、斷面收縮等を夫々精密に検査して所要の條件に適せざるものは之を受入を拒む事少からざるなり。

第四章 同業者の團體

大阪、東京其他取引盛なる地方には夫々鐵鋼業者の組合あるを常とす。大阪の大坂鐵商組合、東京の銅鐵物問屋組合の如きは何れも一流若くは二流の同業者の組成せるものにして、組合員並に其の使用する雇人の不正行爲、取引先の債務不履行等に對する制裁を規定して、組合員相互の利益を保持し、他地方に於ける同業組合との交渉其他官廳に對する請願建議等に一致の歩調を取る等稍秩序ある

團結を形れとも、其實際に於ける力は極めて微弱なるものの如く僅に海外との取引に於て往々生ずる紛議の仲裁をなす等を主要なる團體力の發現とせるに過ぎず、其の規定の如きも多くは消極的にして、斯業の發展を圖るの策を有せざるは同業者の爲に惜むへきなり。方今斯業發展の機熟せんとして、あるに當り、諸種肝要なる調査を行ひ、生産者と協同して品質の改良、販路の擴張を策するか如きは極めて緊要なる事と云ふへきなり。

販賣業者の團體としては、上述微々たる同業組合の存するあるのみにして他に何等の機關あるなし。唯東京に同業有力者の出資に係る東京鐵業銀行及東京銅鐵株式會社あれとも、前者は單に同業者の出資せるものと云ふに過ぎずして同業者間の金融を調節するに非す、普通一般の銀行業務を營むのみにて何等同業全般に取り利害關係を有するものに非ざるなり。後者は鐵鋼其他の金物、商品を擔保として短期の資金を融通するを目的とせるものにして、此點より云へは多少斯業に取り便益ある機關の如しと雖、資本大ならず二流三流の同業者の主として利用するに止り、固より同業者の團體としての機能を論する價値あるものに非るなり。

第五章 結論

以上述ふる所を以て大略、本邦に於ける現時の鐵鋼販賣業の状況を明にするを得たり。終りに一言せんと欲するは斯業の將來に對する概觀なり。

鐵鋼販賣業の混沌たる事は前章既に之を述へたり。同業者の團體の認むへきものなきをも之を指摘せり。翻て歐米諸國に於ける斯業界を一瞥すれば、彼の米國の Steel Corporation の如きカーネギーの鋼鐵會社を始めとし、有力强大なる多數の會社を集めて生産より販賣に至る一切の行程を統一し、製品の總てを擧げて共同販賣の制度の下に集散する等、大規模經營の能力を遺憾なく發揮し、内に在ては市場を獨占して高價なる市價を持続し、外に向ては盛に投賣を行ひて極めて低き價格を以て外國

市場に侵入する等其雄圖寧ろ恐るへきものあり。

我國鐵鋼業の現狀を以て之に對比せんは無謀なるに似たりと雖、將來生産の業大に進むに至らは販賣業も之に伴ひ發展すべく、生産販賣の關係密接に赴きて販賣業者相互の間にも販路、販賣條件、賣價等を聯合協定して有利大規模なる組織を實現する事強ち否定すへからざるなり。唯本邦產鐵の額多からざる現今に於ては内外製品の競争を絶ちて統一せる大規模の販賣組織を見る事は望んで得難き所なりと云はざるへからず。(第五項終)